



4月29日
 おめでとう ビートブラック号 第145回天皇賞優勝
 京都競馬場で行われた第145回天皇賞(春)(GI)で、美宇のノースヒルズで生産されたビートブラック号が見事優勝をかざりました。
 レースは、14番人気だった同馬がスタート直後から先行。残り1000メートルからロングスパートをかけ、2位に4馬身差をつけての勝利となりました。

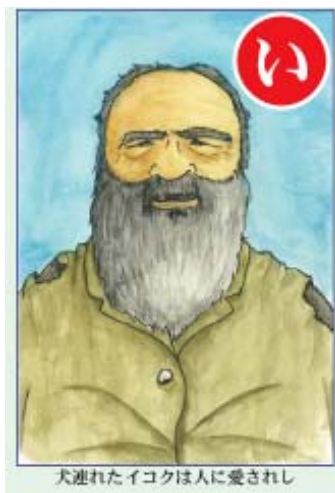
4月2日
建設協会によるボランティア清掃が実施

新冠建設協会(正木省司会長)による町内道路のボランティア清掃が行われました。
 この日は、朝早くから66名の会員の皆さんが担当地区(市街地・節婦町・朝日・太陽など)に出向き、道路脇にたまった砂などの清掃を行ってくれました。
 建設協会の皆さん、ありがとうございます。



4月27日
マイタウンロード・クリーン運動
 新冠町商工会青年部・女性部、新冠町農協と役場職員が参加して、町道東泊津新冠線(左岸道路)と堤防線のゴミ拾いが行われました。
 この運動は、毎年4月に実施されているもので、今回は、軽トラ4台分のゴミが集まりました。

ふるさとカルタ紹介①
 ① イコケ



犬連れた イコケは人に 愛されし

? 1950年。和名、笹川保武士。
 かつて判官館のふもとに住んでいたアイヌ民族で、当時は誰もが知っている「名物おやし」であった。草葺の住家、山菜や実を採取、海や川では魚や貝を拾って食べ、大自然と共に生きてきた。常に数頭の犬と行動を共にし、冬の寒いときは、犬を囲んで布団代わりにして寝ていた。当時の子どもは悪さをすれば、「イコケの所にやるぞ」とよく親から言われていたという。しかし、この脅し文句とは裏腹にイコケそのものは温厚・善良で、多くの人々(特に子ども)から愛された。

※ふるさとカルタは、新冠町開町130年・町制施行50年記念事業の一環として作製したもので、読み札の題材を「新冠郷土文化研究会」が選定し、そのお題に沿って「新冠俳句の会」が読み札語句を、「新冠アトリエの会」が絵札を担当して作り上げた町民手作りのカルタです。



温泉敷地に鯉のぼり設置

新冠町商工会青年部(氏家良美部長・会員20名)の皆さんにより新冠温泉敷地等に70匹の鯉のぼりが設置されました。
 鯉のぼりは、町民の皆さんなどに寄付して頂いたもので、今年は、昨年より10匹多く設置されています。



今年のレ・コードの丘には、つつじ・バラ・ひまわりが咲く

新冠温泉レ・コードの湯敷地内にある、通称「レ・コードの丘」に今年は、バラ、ひまわり、そして昨年の開町130年・町制施行50年の記念事業として植樹された、つつじ約2500本が咲きます。
 「花に集い」、「花に親しみ」、「花に癒され」、「花でみんなが元気になる」そんな花の名所を目指しているレ・コードの丘。
 今後、つつじは6月上旬、バラは7月上旬、ひまわりは7月下旬にそれぞれ見頃を迎えますので、町民の皆さん、是非足を運んでみてください。

